

校内書初大会



1月8日(水)、海峰小学校で書初大会がありました。子供たちは、練習の成果を発揮しようと懸命に筆を運んでいました。



お茶のおけいこ

2月の「ありがとうお茶会」に向けて、5歳児が河内先生からお茶会の指導を受けています。練習は全部で3回あります。今日(1月22日)は練習の2回目でした。

歩き方からはじまり、座り方、立ち方、お菓子の出し方、お茶の飲み方、お茶碗の扱い方等懇切丁寧な指導を受けていました。2月13日の親を招いての本番が楽しみです。



* 公民館主事の独り言

「失敗しないように生きるより、失敗をよしとして生きる方が自信になる。」これが、デンマークの教育です。

『世界幸福度』『世界競争力』のランキング上位の常連デンマークでは、幼稚園児から若者まで自信に満ちて、大人にもはっきり意見を言います。

学校の教育方針は「幸せ第一主義」。そのためには、失敗をOKとすること、得意を伸ばすこと、自分のペースで生きることをモットーとしています。

失敗するのは、挑戦したから。その都度学びがあり、人としてパワーアップするのだからどんどん失敗しようという考え方です。

幼稚園では、園児が何をして遊ぶかを決め、小学校に入る時期も自分で決める。小学校からは、どう学ぶか自分で決め、8割以上がストレートに大学に行くのではなく、どこかの段階において専門学校で興味のあることを学んだり、アルバイトをしたりします。

つまり、「人は人、自分は自分」と自立した感じ方や、迷い道、回り道を積極的にしようとするのが自信になっていくのです。

幸せであるのも、不幸であるのも、本人の感じ方次第。お金がないときは、節約生活を楽しみ、孤独なときは、音楽に慰められ、病気のときは、まるで他人ごとのように体の仕組みを面白がったりして学びとする。このように、見方を変えることであまり深刻にならず笑って過ごせるようになる。

幸せとは、なるものではなく、感じるもの。成果や評価を追いかめるだけでなく、それに至るまでのプロセスの一瞬一瞬のなかに幸せがあると分かれば、心に余裕をもって歩いていけるものです。



デンマークの町並

○ 3月の講座案内

講座名	曜日	開設日	講師・責任者	時間	部屋
生け花 (池坊)	第1・3水曜日	5日 19日	西山栄津子	10:00～ 14:00	洋室
かな書道	第1・3月曜日	3日 17日	猶明 光華	13:00～	洋室
学童茶道& 百人一首	毎週木曜日	6日 13日 20日 27日	学童支援員	15:00～	和室
手芸	第3火曜日	18日	伏木あい子	13:30～	和室
潮華会(新舞踊)	毎週土曜日	1日 8日 15日 22日 29日	大野 朝子	19:00～	和室
潮月会(新舞踊)	毎週金曜日	7日 14日 21日 28日	大野 朝子	13:00～	和室
囲碁サロン	毎週月・水曜日	3日 5日 10日 12日 17日 19日 24日 26日		13:30～	和室
フラダンス	第1・3月曜日	3日 17日	東軒みさ子	19:00～	和室
常磐会書道教室	第2・4土曜日	8日 22日	角 庸子	10:00～	洋室

○阿尾公民館からのお知らせ

・3月のふれあいランチは、阿尾地区3月8日(土)、指崎地区3月21日(金)です。

・今年度も終盤に近づきました。そこで、来年度に向け阿尾公民館の事業(よくばりウオーキング・公民館祭・パタンク大会や新規事業)や講座等について、貴方のご意見をメール等でいただければと思います。※メールアドレス(masakitj0911@outlook.jp)、メモ用紙(阿尾公民館の郵便受けへの投函)

○おらっちゃん風土記

阿尾の金毘羅さま

※漢字の表記は原文通り

阿尾公民館だより1月号「おらっちゃん風土記」の「こんぴらさん」の記述について、阿尾地区のS氏から新たな情報をいただきましたので、その内容をお知らせします。

「こんぴらさま」とは香川県仲多度郡琴平町にある金刀比羅宮の祭神で海上安全の神である。元は松尾寺金光院に金比羅大権現として祀られていた。コンピラはもともとガンジス川にすむ霊魚、鰐を神格化したもので原住民に崇拝されていた。仏教に取り入れられ、薬師十二神将の一つとなり、仏法を守護する神となる。グビラ(宮毘羅、俱毘羅)とも呼ばれている。

琴平は重要な水運の地であり、そこにあった海上安全の神に水に関係深い仏神としてのコンピラが取り入れられて航海漁業の神として金毘羅権現が生まれたと推察される。

阿尾に金比羅宮が建立されたのは、文政十年(1827)である。「應響雜記」文政十年六月二十日の条に建立の記事がある。また、文政十年の持宮長には高澤美作持宮として金毘羅大権現が記載されている。しかし、明治十三年の神社明細帳には、「白峰社」となっている。明治になり、神社での仏語排除の政策で権現名が廃止され、金刀比羅宮に配祀されていた崇徳天皇に由来して白峰社と名付けたのであろう。けれども実際はその後金刀比羅社と呼ばれてきた。

「白峰社崇徳天皇」の社標には、大正十二年秋建立とある。